

平成 31（令和元）年度海外畜産事情研修の企画概要（案）

公益社団法人 中央畜産会

1 目的

海外畜産事情研修は、海外における畜産経営指導・技術指導の実態や畜産経営の状況を把握し、今後のわが国の畜産経営に対する支援において経験を生かすことのできる人材の育成を目的に実施する。

2 訪問地域

EU 2 カ国程度を訪問し、政府機関、農業・畜産関係団体、畜産経営、流通関係事業者等で取り組み内容の聞き取り、視察等を行う。

3 実施時期（予定）

令和元年 9 月下旬～10 月上旬（2 週間程度）

4 対象者

地方会員の長が推薦した者

5 経費等

(1) 負担金

1 人当たり 40～45 万円

(2) 含まれる経費

海外航空賃、現地移動費、宿泊料金、食事料金、現地費用（現地調整費、訪問先謝金、訪問先手土産等、現地通訳代等）、各種手配費用等

(3) 含まれない経費

日本国内の諸費用（移動旅費、宿泊費）、航空荷物超過料金、現地通信費、飲料代、パスポート取得費用、旅行保険（個人加入分）、その他個人的な費用

6 実施にあたっての留意事項

- (1) 受講者は研修者選定委員会で選定し、最終決定者には公文書で通知します。
- (2) 最低催行人数は 10 人とし、募集が 10 人未満の場合は開催を中止する場合があります。
- (3) 都道府県畜産主務課等の職員も対象となります。
- (4) 渡航前に事前研修会を東京で 2 回開催し、事前に訪問国の農業・畜産の状況や制度、訪問先の概要、重点聞き取り事項の整理等を行います。
- (5) 帰国後、報告書を作成するためのとりまとめ会議を行うとともに、年明けに地方会員を参集しての報告会を開催します。

7 スケジュール

5 月 31 日	参加希望者とりまとめ期限
6 月上旬	催行決定・受講者決定
7～8 月	事前研修会 2 回
9 月下旬～10 月上旬	渡航期間
11 月	報告書とりまとめ会議
2 月頃	報告会の開催